

証券コード 3023



ラサ商事株式会社

<http://www.rasaco.co.jp/>

**2012年3月期 第2四半期
決算説明会 プレゼンテーション資料**

2011年11月15日

I. 決算の概要

- ・ 決算概要
- ・ 決算ハイライト
- ・ 受注の状況
- ・ 部門別の概況
- ・ 貸借対照表
- ・ キャッシュ・フロー

II. 通期 業績見通し

- ・ 経営環境
- ・ 業績見通し
- ・ 配当

III. 今後の戦略

- ・ 当社の強みと基本戦略
- ・ 今後の取り組み課題
- ・ 今後の成長に向けて
- ・ 新本社ビルについて

参考資料

- ・ 会社概要
- ・ 事業内容
- ・ 歴史から見た事業の発展経過
- ・ ジルコンサンド
- ・ ワーマンポンプ
- ・ ヒドロスタルポンプ
- ・ ラサ・システム



I. 決算の概要

1. 2012年3月期第2四半期 決算概要

■ 決算概要

- 減収増益
- 期初予想は減益、
想定を大きく上回り2回上方修正

■ 震災の影響

【プラス要因】

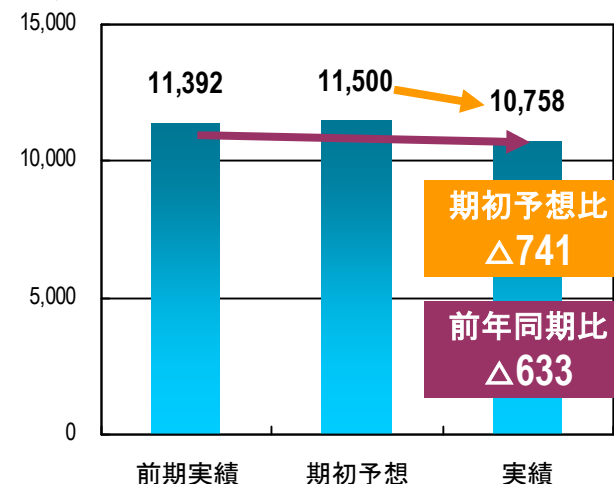
- ・復興支援への協力案件

【マイナス要因】

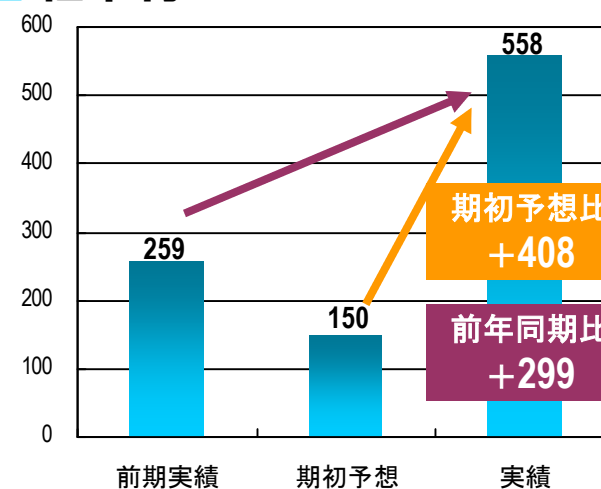
- ・被災したお取引先の定期整備案件等の消滅

⇒ 上期はプラス要因のほうがやや大きい

■ 売上高 (百万円)



■ 経常利益 (百万円)



2. 決算ハイライト (非連結)

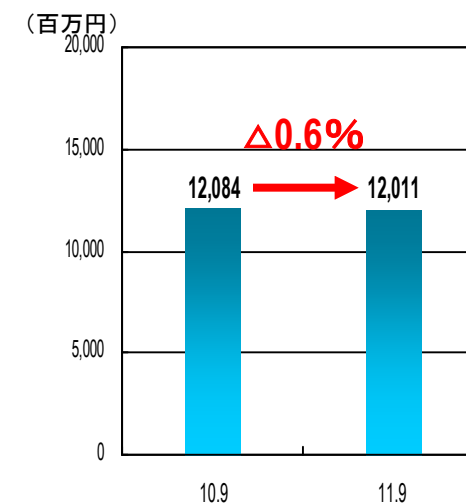
(単位：百万円・%、単位未満切捨)

	前第2四半期 (2010年9月)		当第2四半期 (2011年9月)		前年同期比	
	金額	構成比	金額	構成比	増減	増減率
売上高	11,392	100.0	10,758	100.0	△633	△5.6
資源・金属素材関連	7,595	66.7	6,960	64.7	△635	△8.4
産機・建機関連	3,157	27.7	3,191	29.7	33	1.1
環境設備関連	637	5.6	606	5.6	△31	△4.9
その他	1	0.0	1	0.0	△0	△3.5
売上総利益	1,684	14.8	1,978	18.4	294	17.5
販売費及び一般管理費	1,428	12.5	1,439	13.4	11	0.8
営業利益	256	2.3	538	5.0	282	110.2
資源・金属素材関連	198		449		250	126.2
産機・建機関連	323		410		86	26.8
環境設備関連	70		39		△31	△44.2
全社費用	△336		△360		△23	—
経常利益	259	2.3	558	5.2	299	115.2
四半期純利益	138	1.2	275	2.6	136	98.6
1株当り四半期純利益(円)	11.88		24.58		12.70	106.9
1株当り配当金(円)	4.00		5.00		1.00	25.0

3. 受注の状況

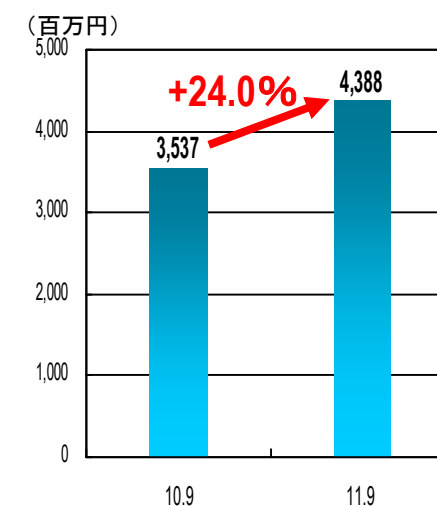
■ 受注高 (百万円、%)

	当期	前期実績	
		金額	増減率
資源・金属素材関連	7,227	7,677	△5.9
産機・建機関連	4,000	3,768	6.2
環境設備関連	782	637	22.6
その他	1	1	△3.5
合計	12,011	12,084	△0.6



■ 受注残高 (百万円、%)

	当期	前期実績	
		金額	増減率
資源・金属素材関連	972	555	75.2
産機・建機関連	2,005	1,718	16.7
環境設備関連	1,409	1,264	11.5
合計	4,388	3,537	24.0



4. 部門別の概況 ①資源・金属素材関連

● フェロニッケルを除く全商品が好調に推移

【ジルコンサンド】 .. 価格上昇により売上増

【輸入原料】 .. 脱珪ジルコニアなどの拡販が寄与し売上増

(単位：百万円・%、単位未満切捨)

	売上高			受注高		
	前期	当期	増減率	前期	当期	増減率
フェロニッケル	4,600	2,628	△42.9	4,600	2,628	△42.9
ジルコンサンド・チタン原料等	1,883	2,809	49.1	1,933	2,976	53.9
輸入原料	426	657	54.3	431	673	56.0
金属シリコン	450	493	9.5	487	571	17.3
その他商品	234	371	58.3	224	378	68.3
合計	7,595	6,960	△8.4	7,677	7,227	△5.9

4. 部門別の概況 ②産機・建機関連

● 産機の主力のポンプ類の販売が好調に推移

【産機】 ・ 主力のワーマンポンプ、ヒドロスタルポンプが好調に推移

【建機】 ・ シールド掘進機の販売が伸び悩み売上減

(単位：百万円・%、単位未満切捨)

	売上高			受注高		
	前期	当期	増減率	前期	当期	増減率
ワーマンポンプ	1,255	1,477	17.7	1,644	2,016	22.6
ヒドロスタルポンプ	326	348	6.8	475	576	21.3
その他ポンプ	333	305	△8.3	378	352	△7.0
その他産業機械	344	311	△9.6	470	479	2.0
産業機械 計	2,260	2,443	8.1	2,969	3,424	15.3
シールド掘進機	703	574	△18.4	604	327	△45.9
その他建設機械	193	173	△10.6	194	247	27.8
建設機械 計	897	747	△16.7	798	575	△28.0
合計	3,157	3,191	1.1	3,768	4,000	6.2

4. 部門別の概況 ③環境設備関連

- 売上・受注ともに大型設備の案件はなく、
部品・機器類の販売中心の営業展開

(単位：百万円・%、単位未満切捨)

		売上高			受注高		
		前期	当期	増減率	前期	当期	増減率
水砕スラグ 製造設備	本体	95	169	78.2	239	162	△32.0
	部品	175	151	△13.9	130	134	2.8
	合計	270	320	18.4	370	297	△19.7
輸入高圧用ポンプ 及び機器類	本体	212	139	△34.3	53	232	332.2
	部品・ メンテナンス	154	146	△5.3	213	252	18.2
	合計	366	285	△22.1	267	484	81.3
合計		637	606	△4.9	637	782	22.6

5. 貸借対照表 ①資産の部

(単位：百万円・%、単位未満切捨)

	前期末 (2011年3月31日)		当第2四半期末 (2011年9月30日)		増減	増減率
	金額	構成比	金額	構成比		
流動資産	10,334	69.1	11,055	70.4	720	7.0
現金及び預金	2,564		1,681		△882	△34.4
受取手形及び売掛金	5,579		5,699		119	2.1
商品及び製品	1,874		3,281		1,407	75.1
その他	316		392		76	24.2
固定資産	4,622	30.9	4,658	29.6	36	0.8
有形固定資産	2,953	19.7	2,943	18.7	△9	△0.3
土地	2,044		2,044		—	—
建設仮勘定	641		641		—	—
その他	267		257		△9	△3.6
無形固定資産	98	0.7	137	0.9	39	39.6
投資その他資産	1,570	10.5	1,577	10.0	6	0.4
資産合計	14,957	100.0	15,714	100.0	757	5.1

5. 貸借対照表 ②負債・資本の部

(単位：百万円・%、単位未満切捨)

	前期末 (2011年3月31日)		当第2四半期末 (2011年9月30日)		増減	増減率
	金額	構成比	金額	構成比		
流動負債	4,562	30.5	5,414	34.5	851	18.7
支払手形及び買掛金	2,877		3,656		779	27.1
短期借入金	124		724		600	483.3
1年内償還予定の社債	380		420		40	10.5
賞与引当金	190		200		10	5.3
その他	991		413		△577	△58.3
固定負債	2,451	16.4	2,153	13.7	△298	△12.2
社債	1,610		1,400		△210	△13.0
転換社債型新株予約権付社債	75		75		—	—
長期借入金	220		157		△62	△28.5
退職給付引当金	500		475		△25	△5.0
その他	45		45		—	—
負債合計	7,014	46.9	7,567	48.2	553	7.9
純資産合計	7,943	53.1	8,146	51.8	203	2.6
負債純資産合計	14,957	100.0	15,714	100.0	757	5.1
自己資本比率	53.1%	—	51.8%	—	△1.3	—

6. キャッシュ・フロー

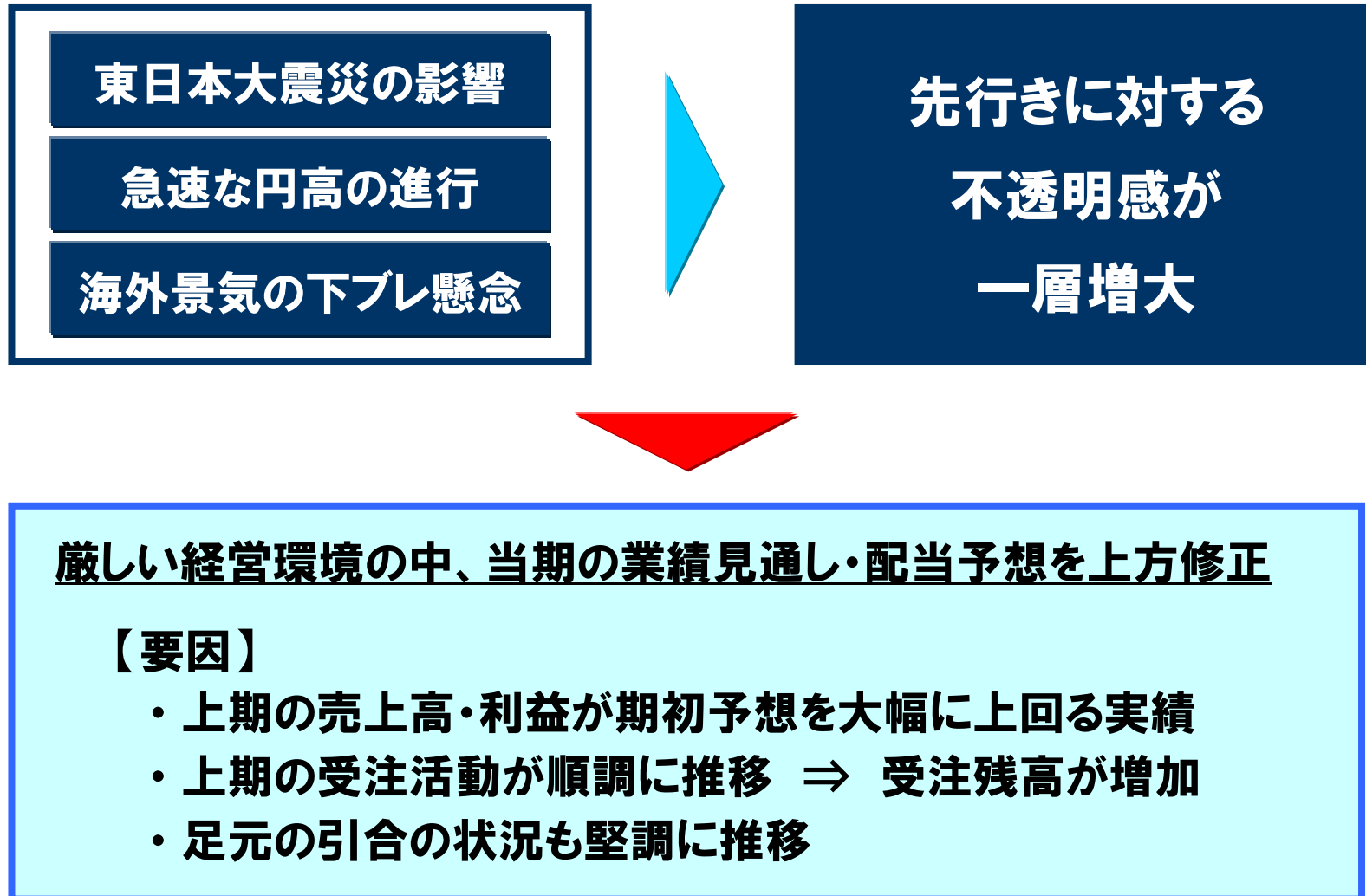
(単位：百万円・%、単位未満切捨)

	前第2 四半期	当第2 四半期	当期の主要項目	
営業キャッシュ・フロー	829	△716	税引前四半期純利益	480
			仕入債務の増加	810
			たな卸資産の増加	△1,502
			法人税等の支払	△ 451
投資キャッシュ・フロー	△416	△455	有形固定資産の取得	△ 315
			無形固定資産の取得	△ 68
財務キャッシュ・フロー	△1,377	288	短期借入金の収入	600
			社債の償還	△ 170
			配当金の支払額	△ 78
換算差額	0	△0		
増 減	△964	△882		
期首残高	2,895	2,564		
期末残高	1,931	1,681		



II. 通期 業績見通し

1. 経営環境



2. 業績見通し

- 期初予想は売上高は前年並み、利益は減益
⇒ 増収増益の見通し

(単位：百万円・%)

	修正予想	前期対比			期初予想対比		
		前期実績	増減	増減率	期初予想	増減	増減率
売上高	26,000	24,004	1,995	8.3	24,000	2,000	8.3
資源・金属素材関連	15,700	14,762	937	6.4	13,700	2,000	14.6
産機・建機関連	8,600	8,073	526	6.5	8,600	0	0.0
環境設備関連	1,700	1,164	535	46.0	1,700	0	0.0
売上総利益	4,450	4,042	407	10.1	4,100	350	8.5
販売費及び一般管理費	3,100	2,874	225	7.9	3,050	50	1.6
営業利益	1,350	1,168	181	15.5	1,050	300	28.6
経常利益	1,350	1,171	178	15.2	1,050	300	28.6
当期純利益	707	656	50	7.7	570	137	24.0
1株当り当期純利益(円)	63.17	57.33	5.84	10.2	50.93	12.24	24.0

3. 配当

- 期初予想より2円増配 11円 ⇒ 13円
【中間】5円 ⇒ 5円 【期末】6円 ⇒ 8円
(前期実績) 年間11円 (中間 4円、期末 7円)
- 配当利回り(第2四半期末時点) 3.86%

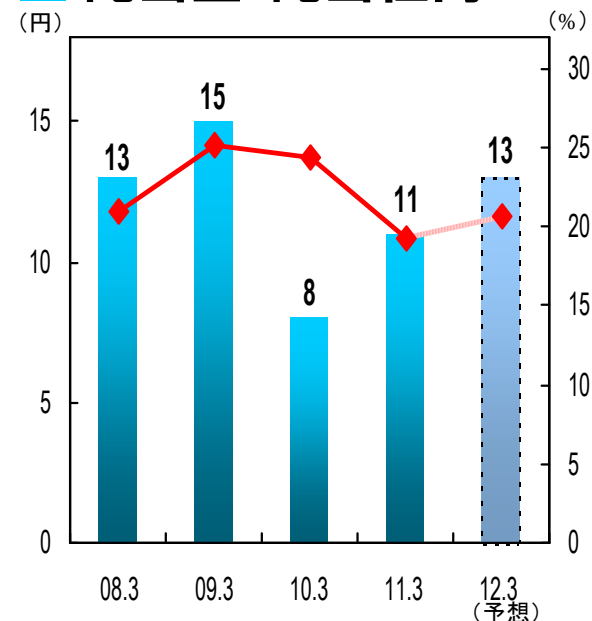
■ 考え方

- 安定配当を行なうこと
- 配当性向20%前後を維持すること

【前期実績】 19.2% (11円配当)

【当期予想】 20.6% (13円配当)

■ 配当金・配当性向





III. 今後の戦略

1. 当社の強みと基本戦略

【当社の強み】

3事業に特化した事業推進で各事業を進化・深化

資源・金属素材
関連事業

産機・建機
関連事業

環境設備
関連事業

提案型営業と提供機能の高付加価値化

【基本戦略】

当社の強みである「提案型営業」と「提供機能の高付加価値化」について
更なる強化を推し進め、収益基盤の一層の強化を図る

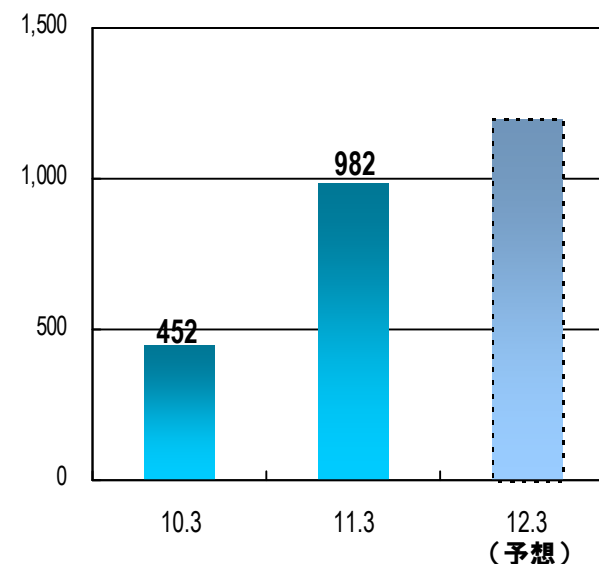
2. 今後の取り組み課題 ①資源・金属素材関連

- 輸入原材料の販売拡大および新商材の育成
- ラサオーストラリアPTYリミテッドの強化

■ 成果・今後の展開

- 金属シリコンは太陽電池向けの本格販売開始を下期に計画
- 輸入原材料では「脱珪ジルコニア」が上期に急伸

■ 金属シリコンの売上高 (百万円)



2. 今後の取り組み課題 ②産機・建機関連

- ポンプを中心とした新商品の育成
- 海外市場の拡大
- メンテナンスサービス体制の一層の充実

■ 今後の展開

- 海外市場の拡大
 - ⇒ 中国、東南アジア、米国、インドなどへの営業強化



▲ワーマンポンプ

2. 今後の取り組み課題 ③環境設備関連

- 水砕スラグ製造設備「ラサ・システム」の販売先の拡大および新技術開発
- スラグ処理の販路拡大
- 海外主要機械メーカーとの提携で環境改善に貢献

■ 今後の展開

- IGCCに関し、勿来での実証機での実績を踏まえ引合増加(国内・海外とも)
⇒ クリーンなエネルギーで発電効率も高いIGCCへの注目が高まる

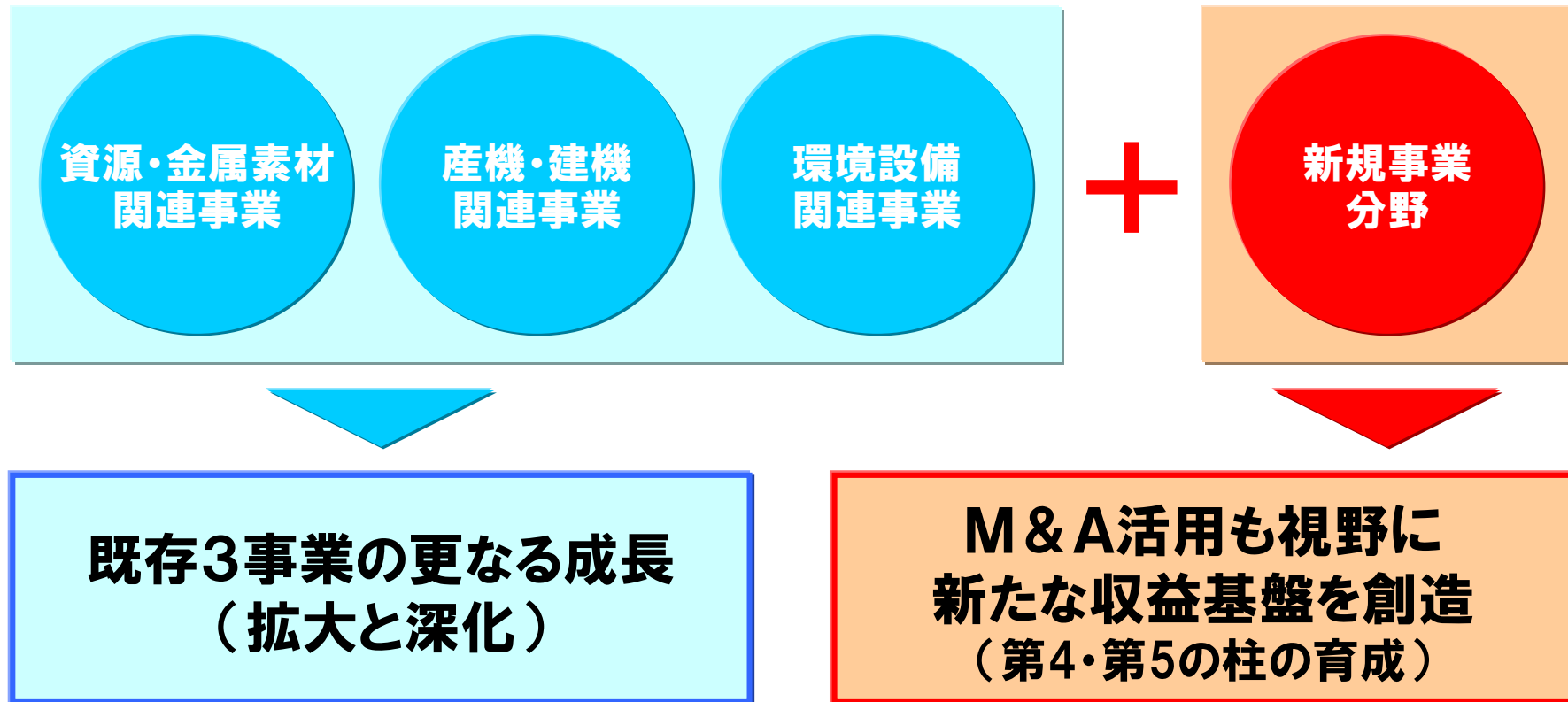
IGCCの特徴

従来の石炭火力発電より
発電効率が高い

CO2の排出量が
大幅に削減

3. 今後の成長に向けて

更なる飛躍を目指し、経営基盤の構築を図る



4. 新本社ビルについて

10月31日に新本社ビルにて営業開始



■ 概要

- 名称 : RASA日本橋ビルディング
所在地 : 東京都中央区日本橋蛸殻町一丁目11番5号
設計監理 : 株式会社東急設計コンサルタント
施工者 : 安藤建設株式会社
地区地域 : 商業地域／防火地域
工期 : 2010年8月24日～2011年10月17日
敷地面積 : 602.32㎡(182.20坪)
延床面積 : 4,041.25㎡(1,222.47坪)
階数 : 地下1階 地上8階
建物高さ : 33.76m
駐車場台数 : 16台
構造 : 鉄骨造(地下は鉄筋コンクリート造)
建物用途 : 事務所
4階～8階 自社オフィス
1階～3階 テナントオフィス

● 注意事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因によって大きく異なる可能性があります。

● IRに関する問い合わせ先

〒103-0014 東京都中央区日本橋蛸殻町一丁目11番5号

TEL : 03-3668-8232

URL : <http://www.rasaco.co.jp/> *「お問い合わせ」をクリックしてください。



参考資料

会社概要

社名	ラサ商事株式会社
設立	1939(昭和14)年1月
本社	東京都中央区日本橋蛸殻町一丁目11番5号 RASA日本橋ビルディング
代表者	代表取締役社長 井村 周一
資本金	1,854百万円(2011年9月30日現在)
売上高	24,004百万円(2011年3月期)
経常利益	1,171百万円(2011年3月期)
当期純利益	656百万円(2011年3月期)
従業員数	193名(2011年9月30日現在)
事業内容	資源・金属素材関連、産機・建機関連、環境設備関連の 3事業を柱にグローバル展開する専門商社
主な仕入先	海外の鉱山会社、国内外の機械・電機・素材メーカー等
主な販売先	国内外の製造業・建設業、エンジニアリング会社、官公庁等

3事業をグローバルに展開する専門商社

資源・金属素材
関連事業

産機・建機
関連事業

環境設備
関連事業

事業内容 ② 資源・金属素材関連事業

● 特徴

- 最も歴史の深い事業・・・輸出入の「商社機能」
- 最も売上構成比の高い事業

商社機能

● 主力商品

- ジルコンサンド・・・国内シェアNo1
- フェロニッケル・・・当社の売上構成比No1



▲ ジルコンサンド

- 現在は上記2品目の売上構成比が大きいが、金属シリコンや水酸化アルミニウム、輸入原料などの販売を強化

事業内容 ③ 産機・建機関連事業

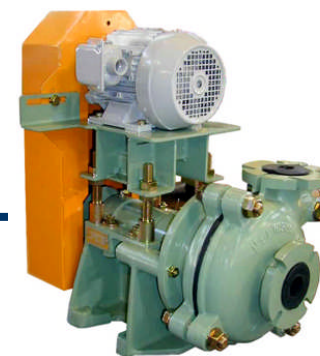
● 特徴

- 最も安定した収益源の事業
- 技術力を生かした提案型営業・アフターフォロー体制

機械メーカー
機能

● 主力商品

- 産業機械：ワーマンポンプ、ヒドロスタルポンプ
- 建設機械：シールド掘進機、キールカッター



▲ワーマンポンプ

事業内容 ④ 環境設備関連事業

● 特徴

- 商社でありながら、「エンジニアリング部門」を保有
- ラサ・システムは設計から施工、建設、運転サポートまで一貫して提供できる国内唯一の企業

プラントメーカー
機能

● 主力商品

- 水砕スラグ製造設備(ラサ・システム)
- プツマイスター高圧ピストンポンプ



▲ ラサ・システム

歴史から見た事業の発展経過

ビジネス拡大の成果

- 商材の高付加価値化
- 顧客層の広がり
- 収益力の強化

環境設備関連事業

- 下水汚泥・産業廃棄物処理設備の設計・施工・販売
⇒ 作業環境の改善、合理化
- 電力向け高圧流動床炉用燃料供給ポンプ設備の納入・販売
⇒ 大気汚染防止の一翼
- 水砕スラグ製造設備「ラサ・システム」の設計から施工、建設、
運転サポートまでを一貫して提供
⇒ 製鉄所の副産物をリサイクル

産機・建機関連事業

- 水からスラリー液、酸・アルカリ性液、高濃度・高粘性液まで
あらゆる流体に対応できる流送機器等の販売、設置、メンテナンス
- 国内外の多くの機械メーカーと総販売代理店契約を締結、顧客
ニーズを踏まえてメーカーの新商品開発や製品の改善等に協力

資源・金属素材関連事業

- ジルコンサンドやフェロニッケルを中心とする鉱産物、
製鋼原料、その他物資等の輸出入および販売

ビジネス拡大の基盤

- 歴史と伝統に基づく、
メーカーとの信頼関係
- 専門家集団の技術力
- 顧客ニーズを把握し、
問題解決する提案力

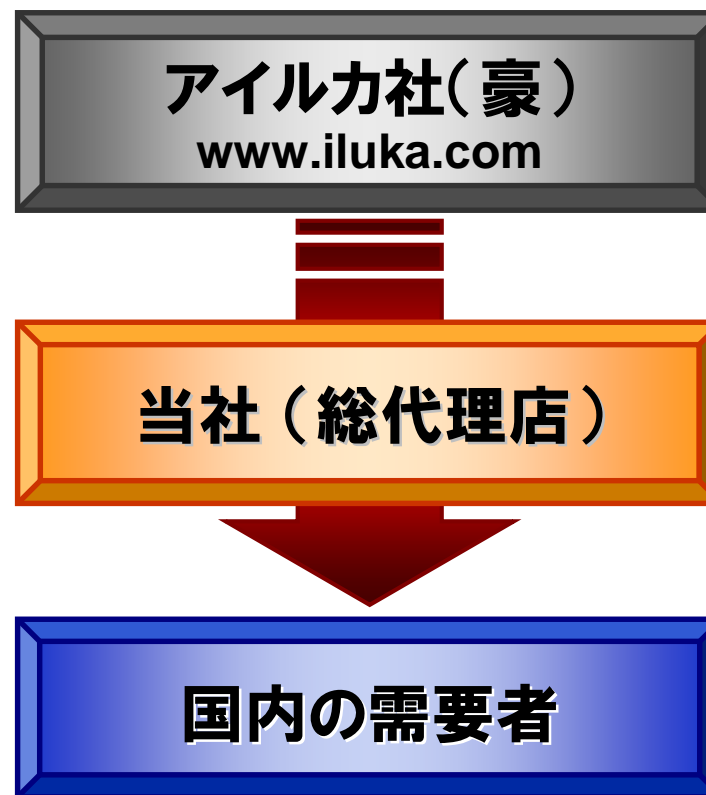
主な製商品 ① ジルコンサンド

当社はジルコンサンド取扱量で国内No.1企業

(生産量世界第1位のイルカ社(豪)と日本における総代理店契約を締結)



生産量世界第1位のイルカ社と
総代理店契約を締結し、日本国内で販売。



主な製商品 ② ワーマンポンプ

メンテナンス性に優れ、耐食・耐磨耗ポンプで業界トップクラス



材質の交換により
様々な液体に対応

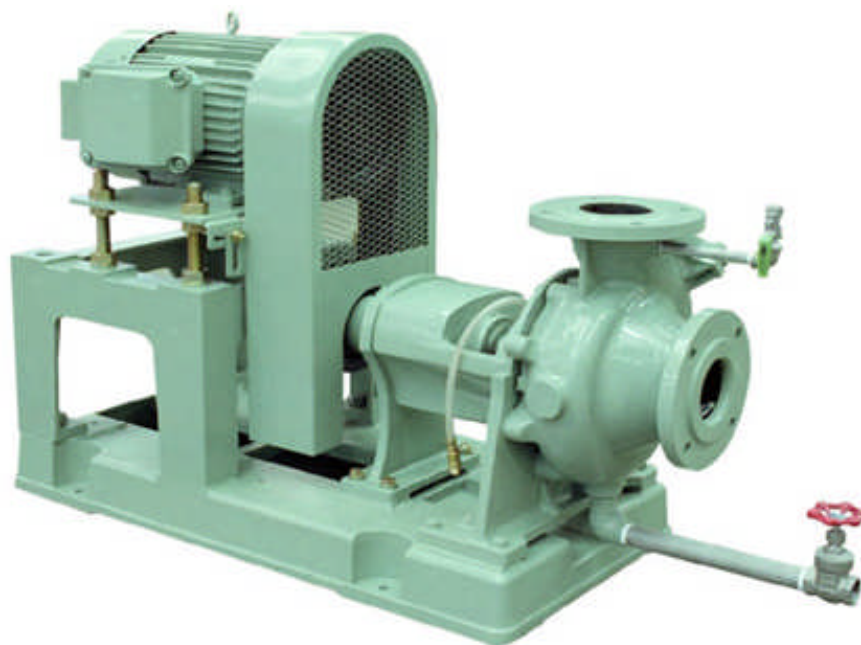
化学・電力・製鉄など
あらゆる産業で活躍

■ 主な納入実績

T社／四日市	約300台稼動
S製鉄	約1,000台稼動
T亜鉛／安中	約300台稼動

主な製商品 ③ ヒドロスタルポンプ

下水処理場などの排水を中心に活躍（官庁出荷も多数）



- 食品業界、製紙業界でも多数の使用実績

もともとは、
魚を無傷で送るために
特殊開発されたポンプ

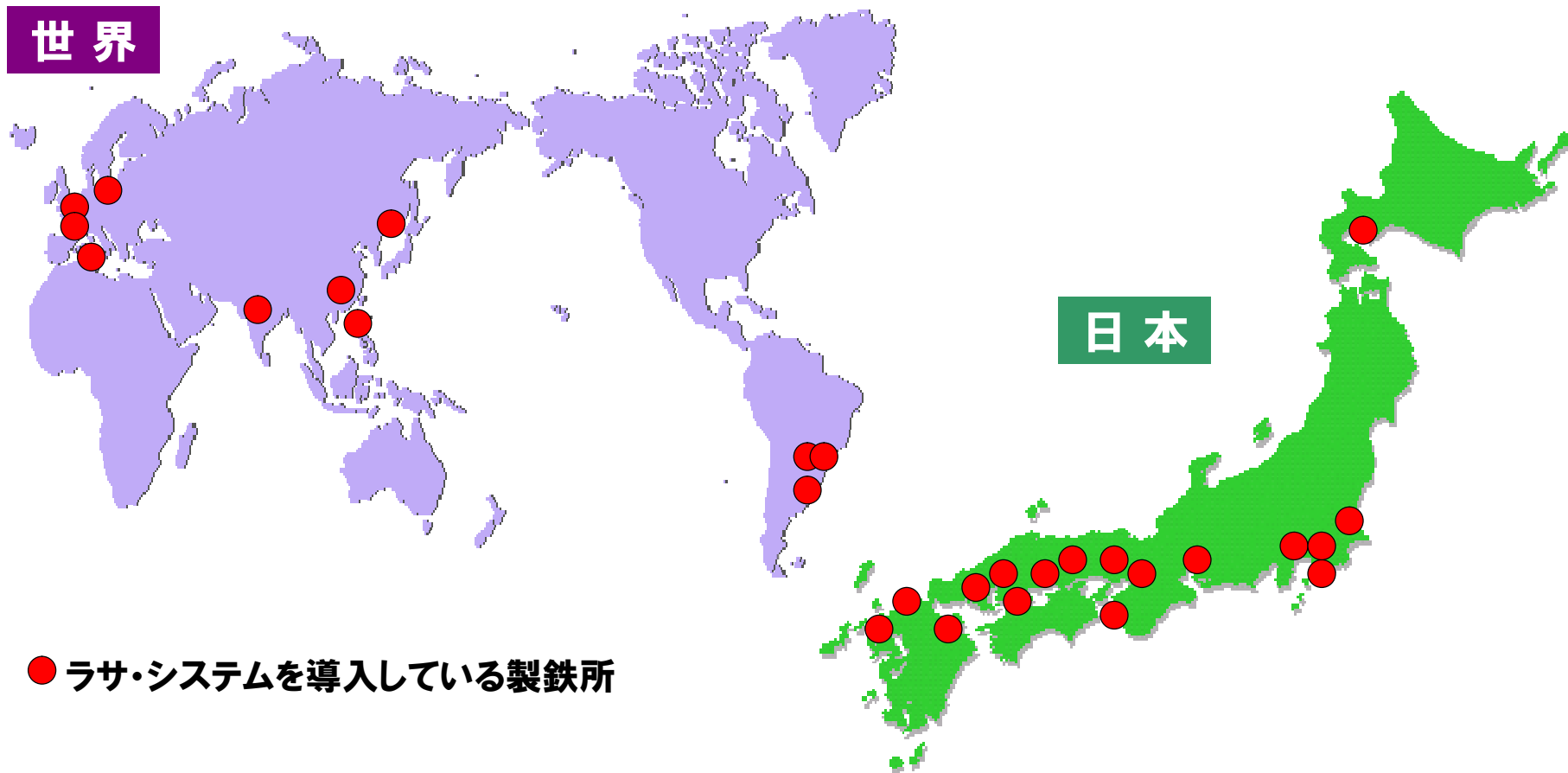
- つまりにくい
- 空気が混入した液体も送れる

主な製商品 ④ ラサ・システム – 1/3

水砕スラグ製造設備 = ラサ・システム

(製鉄所の高炉の付帯設備)

世界



日本

主な製商品 ⑤ ラサ・システム – 2/3



主な製商品 ⑥ ラサ・システム – 3/3

ラサ・システムにおけるスラグ処理の販路拡大

⇒ IGCC (石炭ガス化複合発電) 用のスラグ処理

● IGCCの特長

従来の石炭火力発電より
発電効率が高い

CO₂の排出量が
大幅に削減



次世代のクリーンな
発電方式として
注目が高まる